



南伊勢町議会だより

子どもまつり

令和元年5月1日発行 No. 48



なかよし園 入園式

主な内容

3月定例会	P 2～3
一般質問	P 4～16
町内視察報告	P 17
委員会活動報告	P 18～19
ぎかい応援シター	P 20～21
みんなでやとるで～ほか	P 22

重点事業と注目ポイント

3月5日から20日までの日程で、平成31年第1回南伊勢町議会定例会が開催され、平成31年度当初予算案8件、補正予算案10件、条例案12件、同意案15件、諮問案2件、工事請負契約の変更案1件、その他議案7件が提案され、すべて原案通り可決・承認されました。また、常任委員会に付託された平成31年度各当初予算は、委員長報告を受け、可決となりました。

平成31年度当初予算（一般会計）は、対前年度1.6%増 91億2,286万5千円

ハード面では、最終処分場整備工事に約4,800万円、道路改良・維持工事に約3億5,000万円、町営住宅移転事業に約2,100万円、地域連携棟建設工事に約1億8,700万円、デジタル防災行政無線システム整備工事に7,000万円、学校施設整備工事に約1,400万円。

ソフト面では、若者移住定住促進対策事業として若者の就業・起業を支援する若者チャレンジ応援助成金に約1,400万円、若者の住宅取得を支援する新築住宅等取得支援補助金に2,200万円、未就学児の英語力向上事業活動補助金に960万円、産業活性化事業に2,000万円。

平成31年度【新規事業】

今年度より始まる新たな事業を紹介

(単位：千円)

課 名	事業名	事業概要	事業費
子育て・福祉課	未就学児の英語力向上事業	子どもの知力・体力・英語力の向上に関する取組を実施する。第一弾として保育所での子どもたちの生活と遊びの中に一定時間英語を取り入れていきます。	9,600
まちづくり推進課	壁画作成プロジェクト	田曾白浜の防潮堤に海に関わる壁画（アート）を作成し、壁画作成の過程において学生とアートについてのワークショップを行います。	526
水産農林課	水産業振興費	漁業担い手対策として、漁業就業体験フェアへの参加及び、担い手育成確保事業の先進地視察等を行い、漁業就業体験の実施に取り組みます。	500
建設課	住宅移転事業	国道260号（船越工区）道路改良事業に伴い、住宅移転地となる五ヶ所グラウンドを活用し、公営住宅等、敷地内道路、住宅分譲地を計画しており、三重県の事業計画に合わせて、平成32年度完成に向けて進めていきます。	44,105
税務住民課	戸籍住民基本台帳事務	平成32年1月からマイナンバーカードを利用して、住民票の写し・印鑑証明等をコンビニエンスストアで発行ができるようになります。	8,557
教育委員会事務局	芸術文化振興事業	芸術文化の振興として、民間団体の支援のもと、ベテラン落語家を招聘した講演やコンサートを開催します。	1,085

子は宝



出産祝金支給条例の受給資格と祝金の額を改正し第一子から子供一人につき10万円支給することになりました。ただし、平成32年3月31日までに第三子以上を出産して、出産祝いを申請すれば、今まで通り子ども一人につき20万円支給されます。

第一子から 出産祝い金 10万円を支給へ

子育て環境の充実を



子どもを抱える親の更なる負担軽減の拡大を図ることを目的に、子供福祉医療費の年齢制限の範囲を15歳から18歳へと拡大されます。

福祉医療費の 助成を 15歳から18歳へ拡大

身を切る改革を



議会改革特別委員会において議論のもと、委員会発委にて議員定数を「14人」から「12人」に削減することを上程し、賛成多数で決しました。平成31年4月1日以降、最初に行われる一般選挙から施行されます。

議員定数改正 「14人」から 「12人」へ

あなたの声を市政に!!

一般質問



議員の Question 行政の Answer

一般質問は、議員が自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
河村健志	① 電気自動車充電スタンドについて ② 町職員の防災対策について	5
掛橋靖	① 常若のまちづくり実現について ② ふるさと納税について	6
西則孝	① 新絆プラン若者定住について ② 新絆プラン総働のまちづくりについて	7
田中喜一郎	① 新絆プラン戦略計画(素案)における革新を生み出す観光関連について ② 南伊勢高校南勢校舎入学生等への支援策と評価・課題と対策について	8
岡田和夫	① 町立病院への交通網の整備について ② 南勢地域の統合保育園の建設場所について ③ 在宅支援の介護施設の充実について ④ 高すぎる国民健康保険税の料金問題について	9
岡本眞	① 地方創生の取組について ② 新「絆プラン」について	10
舌古傳夫	① 新病院について ② 防災について	11
松葉和久	① 青ネギ栽培の今後の経営等の見通しについて	12
倉田育	① 子ども達の「SOS」サインを受け止める体制づくりについて ② 水難事故防止対策と海岸整備について ③ 行政サービスを提供するための職員数の適正化と業務内容について	13
手塚征男	① 獣害対策について ② 低所得者でも入所できる介護施設の建設が必要なことについて ③ なかよし保育園児・南島西小学校の児童の安全対策について ④ 避難場所などの食料備蓄管理について	14
山本芳隆	① 南伊勢町地方創生について	15
東伊久雄	① 農業振興について	16

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。
詳細は議会事務局にお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

6月議会

6月18日～6月21日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164



河村健志 議員

充電スタンド利用は

町長 地元・近隣住民が中心

Q

町文駐車場にEV（電気自動車）用充電スタンドが設置され、約4年が経過した。利用状況の詳細及び、維持管理費を含めた収支内容、そして、今後の増設などの展開予定は。

A

町長 供用開始から利用者は増加傾向で、主に地元や近隣の住民に利用されている。充電にかかる電気代は、月に約

5万円ほどで、保守管理費も含めて、補助金によって相殺されている。また、今後の増設計画はありません。



時代は電気自動車へ…

有事の行動は

町長 災害行動マニュアルを基に

Q

町職員の災害対策について、南海トラフ大地震や、風水害などの有事の際、職員の行動計画の詳細は。また、被災時のBCP（業務維持計画）と、ボランティア受入れ準備の計画は。

A

町長 有事の際職員は、策定されている「職員災害行動マニュアル」

「アル」を基に行動することになっており、町防災訓練や職員参集訓練、図上訓練を行うことで意思疎通を図っている。また、BCPについては、平成30年1月に業務継続計画を策定しており、被災時のボランティア受入れは、社協との協働で、「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を定めている。



有事には総出で

常若のまちの実現には

町長 人口構成のバランスを



掛橋 靖 議員



子どもたちによる町おこし

Q

30年後のめざす姿である「生命力みなぎる常若のまち」を実現しなければならぬが、まずは何から始めるのか。10年V字回復戦略の概略は。

A

町長 最初の10年V字回復戦略として、「子育て・常若教育」「業のイノベーション」「くらしやすさ」の3つをV字回復

戦略プロジェクトとして取り組んでいくこととし、新年度から始まる4年間の戦略計画の施策のなかでV字回復重点取組と位置づけ実行していく。

30年後のめざす姿である「生命力みなぎる常若のまち」になるためには、人口構成をバランスの取れたものにするのが大切。

Q

ふるさと納税の寄付金は、宝飾品とされる「真珠」を返礼品から外した途端に、寄付金が激減し、31年度予算でもふるさと納税寄付金の想定を減額計上している。今後の回復を狙う戦略は。

A

町長 ふるさと応援寄付金を増加させていくには、まず当町のファンをつくるのが大切で、体験型返礼品を拡充・充実させ、当町へ直接足を運んでいただくきっかけづくりを行っていく。

体験型返礼品によって当町の魅力を直に感じてもらうことができ、リピーターの増加にも繋がるのではないかと考える。

ふるさと納税は

町長 当町のファンをつくること



空からまんきつ



西 則孝 議員

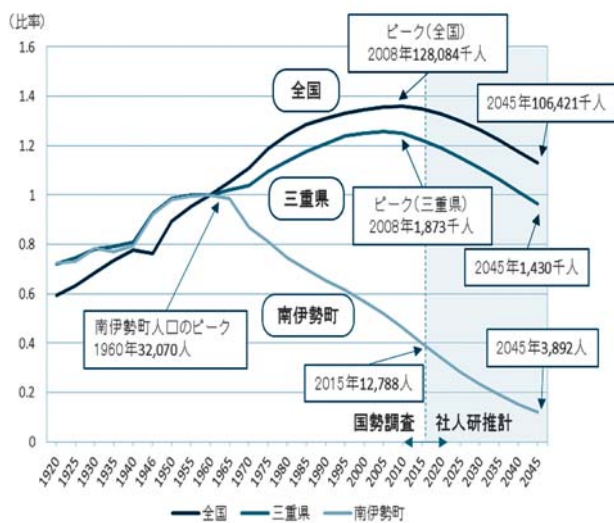
組織体系のあり方は

町長 総合行政、全力で取り組む

Q これからの総働のまちづくりを全力で取り組むための町の組織体系のあり方は。

A 町長 人口減少と少子高齢化が進行する中、地震・津波災害対策と若者定住対策を町政の最重要課題として取り組んできた。

平成31年度を初年度とする新たな総合計画「新絆プ



人口の推移 (1960年を1とする)

若者定住の助成は

町長 2つの事業を実施



ホームタウンにマイホーム

Q 若者の新築及び中古住宅取得と、空き家バンク登録物件のリフォームに要する費用の助成は。

A 町長 新築住宅等取得支援補助金制度では、45才以下の若者が町内に住宅を取得する経費の5分の1 (新築で上限2

00万円、中古で50万円)を補助する。

また、空き家バンクリフォーム補助金制度では、空き家バンク登録物件のリフォーム工事に要する経費の150万円を上限として補助する。但し、この2つの制度は、45才以下で入居後10年以上定住することを要件とする。

機構との関連性は

町長 組織として連携



田中喜一郎 議員

Q

鳥羽港クルーズ船への対応のため関係団体の協議会に参加とのことだが、協議会のメンバーと、これまでの伊勢志摩観光コンベンション機構との違い、関連性は。

A

町長 鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会の構成は、鳥羽市、伊勢市、志摩市、南伊勢町



外国人の方お待ちしております。

と、伊勢志摩観光コンベンション機構、三重県クルーズ振興連携協議会等、民間では近畿日本鉄道(株)、伊勢湾フェリー(株)の13団体であり、オプザーバーとして海上保安庁、事務局は鳥羽市観光課で寄港先である鳥羽市が中心となり、伊勢志摩観光コンベンション機構を含めた関係団体と連携を図り事業を展開していく。

Q

南伊勢高校南勢校舎へのこれまでの支援策と、それらに対する自己評価は。

A

教育長 放課後の進学・就職対策課外授業、就職活動支援員、求人開拓、海外研修者への費用補助、大学進学給付型奨学金の創設、町営バス通学定期運賃の無償化、下校バスの本数増便等の支援を行った。今年度、就職希望

南勢校舎への支援は

教育長 今後も継続

者全員が希望先に就職。なお、就職先は本町に在住し通勤可能な地域への希望が増加。進学は3名で、このうち1人は三重大学教育学部に現役で合格。支援策である課外授業は計266時間実施した。海外研修は1年生1名が参加。南勢校舎だより第5号に「私はこの高校に入学して本当に良かったと思います」とある。今後も継続支援していく。



入学してね



岡田和夫 議員

県内の統一料金化は

町長 時期は未定

Q

国民健康保険税は
今後、県内統一料
金化を図るとのことだが、
いつからなのか。高すぎる
国保税に一般会計等から法
定外繰入を行い、平成30年
度の水準に抑えるべきでは

A

町長 県への確認
では、県内どの地
域でも所得水準、世帯構成
が同じなら、保険税も同じ
であることを目指すが、時
期は、まだ未定との説明で
あった。
保険料の大幅な引上げは

被保険者の負担が大変であ
るので、平成30年度、31年
度と一般会計から繰入を行
い、段階的に保険税をあげ
ることで負担軽減を図りな
がら、法定外繰入を解消し
ていく。



ゴムバンド体操で健康に！

新病院行き交通手段は

町長 開院までに周知

Q

新町立病院行きの
通院手段と帰りの
調剤薬局を含めた交通手段
は。

A

町長 三重交通路
線バスや町営バス
の新病院への直接乗入れや、
デマンドバスを病院玄関口
まで乗入れできるよう調整
する。

また、五ヶ所バスセン



ご利用ください～

ターの運行時間に合わせて
病院からのシャトルバスの
運行を計画している。シャ
トルバスは2台体制とし、
調剤薬局・スーパーマー
ケット・金融機関・役場・
バスセンター等の町の中心
部と病院を結ぶ。路線バ
ス・町営バスの運行時間、
シャトルバスの運行方法等
は開院までに住民に周知し
ていく。

地方創生の取組は

町長 成果も表れつつある



岡本 眞 議員



南伊勢町アワビ養殖施設（阿曽浦）

Q 地方創生の取組について、どのように評価し、今後に生かしていくのか。

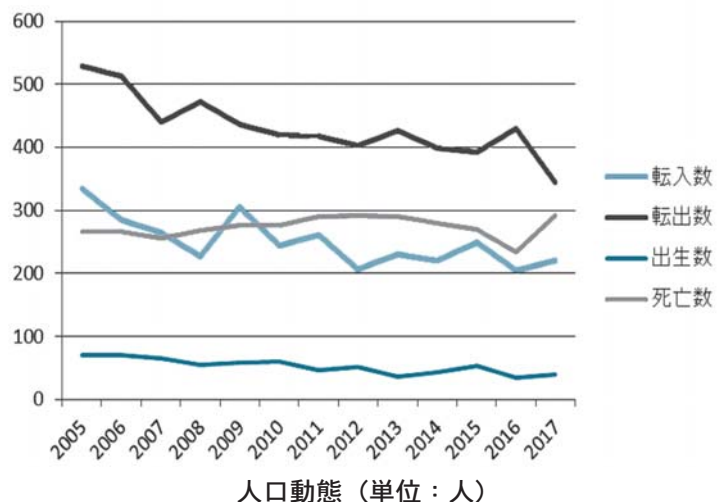
A 町長 「ふるさとフォーラム21」の開催等、地域に根ざした学習により自分の町が好きと答える児童・生徒が増加してきた。コミュニティビジネスの創出では、廃校となった保育園等を活用し住

民が集まる拠点づくりを行い、地域コミュニティを活性化。また、三重大学との連携により南伊勢高校南勢校舎独自の教育課程「地方創生アドバンスコース」を創設した。雇用確保と創出ではみなみいせ商会やアワビの陸上養殖試験施設の展開などにより成果も徐々に表れつつある。

この成果を生かしながらさらに進めていく。

新絆プランは

町長 3つの戦略プロジェクト



Q 新たな計画「新絆プラン」のキーポイントは。

A 町長 「新絆プラン」では基本構想に「30年後のめざす姿」を示し、約10年毎に前期、中期、後期に3区分し、30年後のめざす姿の実現するた

めのV字回復戦略に取り組む。遅くとも2015年国勢調査の10年後の2025年を減少し続ける年少人口の底として反転させる必要がある。「子育て・常若教育」「業のイノベーション」「くらしやすさ」3つの戦略プロジェクトに取り組んでいく。



舌古傳夫 議員

新病院の違いは

町長 災害対応病院として期待

Q 現在の病院と新病院の違いは。

A 町長 診療科の増設について、小児

医療については本年4月から正式に小児科を標榜し、また診察日も週3回として充実させていく。

また、眼科については、新病院のオープンに合わせて、週1回程度になると思うが、新たに開設する予定をしている。

新病院は、災害対応病院として、災害発生時に医療面での前線基地としての役割が期待されている。



※イメージ図

免震構造で高い安全性

一時保管場所は

町長 利便性の高い仮置場を

Q 災害で出る大量の災害ゴミについて、一時保管場所の想定はされているか。

A 町長 「南伊勢町 災害廃棄物処理計画」を策定しており、一次仮置場については、地元と協議を行い、災害状況や居住者数を勘案のうえ、住民の利便性の高い仮置場を候補地に選定することとし、具体的には、各区内の公園や町有地を想定している。



早期の復旧・復興に

青ネギ栽培は

町長 生活が成り立つ



松葉和久 議員



面積の拡大で収入アップへ！

Q

青ネギ栽培事業で
事業主が生活で
きる収入が得られて
いるか、また、作
業員の雇用につ
いてはどうか。

A

町長 当町は、市
場の出荷量の少な
い冬場において、
町の温暖な気候を
利用した栽培を行
っており、栽培面積
を拡大し、市場の
流通が少なくない
期間に出荷を行え
れば、雇用を含め
、生産者の生活が
成り立つ収入を得
ることができる。

後継者の育成は

町長 新規参入に取り組む

Q
青ネギ生産者の後
継者を作ることに
ついて、どのような
戦略を持っている
のか。

A

町長 集落営農で
の青ネギ栽培や三
重県、JA伊勢と連
携し、新規就農者
への栽培指導を行
うなど、栽培面積
の拡大に向けた普
及活動を行うと
ともに、若者チャ
レンジ応援事業や
農業次世代人材投
資事業を活用し、
新規参入者の育成
に取り組んでいき
たい。



ブランド化に期待



倉田 育 議員



「SOS」を見逃さない

「SOS」サインは

町長 情報共有をしながら

Q いじめの防止策について子ども達の「SOS」サインを受け止める体制は。

A **町長** 町内小・中学校では朝の打ち合わせなどで教師などが情報共有しながら児童・生徒の様子観察を行い、校内委員会や研修、職員会議などの場で情報交換を行っている。学期に一回ずつの「いじめアンケート」や面談の実施に加えて、中学校ではスマートフォンについてのアンケートも行うなど、全ての学校で「いじめ防止基本方針」を立ててその方針のもと活動している。

水難事故防止対策は

町長 地元漁協と調整



救命胴衣着用で

Q 全国での「水難事故」約半数は死亡事故となっている。大切な命を守るための水難事故防止対策と海岸整備を改めて見直す必要は。

A **町長** 海岸の利用については自由使用となっており、利用にあたり人命の大切さを優先に、マナーや安全についても利用者のモラルや責任により

利用されるものと認識していますが、今後の水難事故防止対策については、地元区、地元漁協をはじめ、鳥羽海上保安部や三重県と注意喚起等の看板や「救命浮環BOX」の設置なども含め、検討をしていきたいと考えている。

ハクビシンの被害は

町長 増えている



手塚 征男 議員



可愛いけど近づくと危険

Q

新年度から、ハクビシンも駆除の対象になっているが、どのような動物なのか、30年度の被害内容は。

A

町長 夜間に行動を行い、雑食性で果樹などを特に好み、額から鼻先まで白い模様があり、尻尾が長いのが特徴。当町では果樹園、家庭菜園の作物の被害が増えている。

Q

二次避難場所をはじめ、大量に食料品などを保管している各地区の災害用食料備蓄の状況や保管状況は。

A

町長 町内各地区に5年の賞味期限のものを配布し、一次・二次避難所に設置されている屋外防災倉庫や、町施設の室内へ約7万食備蓄している。

備蓄管理は

町長 適切に保管



定期的を確認を

各地区での管理をお願いしているが、長期の保存で、直射日光や季節による温度変化にも注意し、衛生的な状態で保管する必要があることから、定期的な点検や衛生環境にも気を配りながら適切に保管するよう、配布時の他にも日頃から啓発をしていきたいと考えている。



山本 芳隆 議員

新絆プランは

町長

常若のまちを

Q

新絆プラン総合戦略として、30年後を目指す人口6500人の当町の姿をどのようにイメージしているのか。

A

町長 子供の数や若者の数が増えることで、人口構成のバランスが取れ、将来に向かって持続的で、いつまでも若々

しくみずみずしい、躍動的なまち「生命力みなぎる常若のまち」をイメージしている。



未来を繋ぐふるさと教育

最重要課題は

町長

若者の町内居住

Q

短期間に年少人口増を望むのであれば、移住者の増加施策が最重要課題となると思うが。

A

町長 30年後の目指す姿を実現するためには、年少人口のV字回復を達成するための子育て期の若者の町内居住が最



感じる暮らし

重要課題であると考え、若者の移住者と定住者を増やし出生率の向上に向けての取組を進めていくことが重要。短期間での年少人口増には、移住者の数を増やしていく取り組みを進めていくことも重要となる。

新たな成果は

町長 援農隊を設立



東 伊久雄 議員

Q 若者定住の観点から
も担い手の育成・確保について、30年度
新たに実施された事業につ
いての成果とは。



青い空の下で

A 町長 国の農業次
世代人材投資事業
や町の補助金を活用して、
9名の方が就農を目指して
いる。受給期間終了後も農
家として生計が立てられ、
認定農業者となれるように
県、町も指導などを行って
いる。
30年度の新たな取組と成
果について、高齢農家への



甘いミカン作るぞ～

支援として、4月に南勢産
地協議会を母体とした「援
農隊」を設立した。
11月には南勢産地協議会
と企業と連携し、CSR活
動としてみかんの収穫や当
町の食材を使用した調理体
験を行う。また、NPO法

人と連携した農業ボラン
ティアを行い、みかんの収
穫や農作業を実施した。
今後もこのような取組に
ついての支援、担い手・後
継者の育成や労働力の確保
を行っていく。



町内視察報告



町立病院建設工事現場
地域連携棟建設工事現場
サニードード

3月8日議員全員で、
● 町立病院建設工事現場
● 地域連携棟建設工事現場
● 内瀬大橋橋梁修繕工事現場
● 伊勢路川局部改良工事現場
● 河内川局部改良工事現場
● みなみいせ商会 など
町内現地視察を行いました。



伊勢路川
局部改良工事現場
内瀬



内瀬大橋
橋梁修繕工事現場
内瀬



河内川局部改良工事現場
河内



みなみいせ商会
旧 南海小学校内



みなみいせ商会
旧 穂原小学校内

特別委員会中間報告

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～



委員長
東 伊久雄
副委員長
田中喜一郎
メンバー
全議員

議会改革特別委員会

議会機能の充実強化と議会の活性化、そして議員の更なる資質向上を目指しています。

■平成30年5月18日に第1回目を開催し、平成31年2月13日までに、計10回の委員会を開催しました。

◆協議内容

- ①議員定数見直しについて
- ②議員の環境整備について
- ③質疑や一般質問の一问一答方式について
- ④議会のテレビ放映について
- ⑤議会と町民の意見交換会について

◆委員会活動報告

- 質疑や一般質問については、町民の皆さんがわかりやすいように、一问一答方式として、9月定例議会より実施しました。
- 議員定数見直しについては、現在14名となっていますが、2名削減し、12名として議会に上程し、次回の選挙より実施していきます。
- 議会活動の更なる推進の為に、また、議会議員の門戸が広く開かれる様に、議員の環境整備の見直しについても現在協議中です。

■まとめ

議会改革については終点は無く、議会機能の強化と充実、議員の資質の向上に常に取り組み、町民や行政とが一体となり、「オール南伊勢」を合言葉に、議会改革に全力で取り組んでいきます。

地域活性化特別委員会

若者定住、産業振興、地域おこしなどにつながる活動をしています。

■平成30年5月8日に第1回目を開催し、平成31年3月定例会前までに、計12回の委員会を開催しました。



委員長		副委員長		委員		オブザーバー	
岡本 眞		田中喜一郎		山本 芳隆		上村 議長	
				河村 健志		森 源久	
				倉田 育		舌古 傳夫	
						掛橋 副議長	

◆活動内容

- 活動前半は、委員各自の活性化に関する考え方や、これまでの取組などの情報共有を目的として、委員相互の討議を重ねました。
- それから定住促進、定住・移住に係る情報発信、子育て支援、ふるさと納税に的を絞り、議論や行政側との聞き取りをし、そして、行政経営課と福祉課に出席を求め、行政の取組を説明してもらいました。

- 活動中盤は、町外の方の視点も大切と考え、活性化についての考え方を学ぶため、地域活性化アドバイザー、みなみいせ商会などと意見交換を実施しました。

- 活動後半は、当町には地方創生が叫ばれる以前から、地域において自発的に活性化に取り組んでいる人たちが、団体が多数あり、現場の声を聞く為、交流会を開催しました。

- 国との人事交流で当町に2年駐在された水産農林課職員と、更に地域おこし協力隊の皆さんと意見交換会を実施し、大きな収穫を得ました。

■まとめ

地域活性化は町を上げての悲願であり、これといった特効薬はありませんが、私たちは『地道に続けること』『現場の生の声を大切にする』『皆で情報を共有すること』を大切に、住民の皆さまの知恵と力をお借りしながら、委員1人ひとりのモチベーションを上げ、スキルアップを忘れず、今後もエンドレスな取組として続けていきます。





ぎかい応援レター



ぎかい

50代男性



平成と共に！！

奇しくも平成の終わりと共に地域から保育園が無くなる。
園庭の子どもたちの笑い声の代わりに、上のグラウンドで球を打つ音と、元気な年寄りの声。
高齢化率が高くてまだまだこの地区は元気です。



50代女性

何とかしてください。

町役場と町立病院等、町の施設の駐車場の整備と確保をお願いします。駐車をするのに難儀です。

50代女性



感謝・感謝！

最近、夜に車で出かけると以前より鹿が少なくなり走りやすくなりました。
罾の免許ある方、猟友会等々の皆さま、役場関係者の皆さまありがとうございます。

minamiise

ぎかい



70 代女性

今から楽しみです

11月頃サニーロード沿いに新しい病院ができるみたいですね。津波の心配がないからありがたい事です。帰りに役場、スーパーに寄ってくれるバスと聞いてます。往復座れるバスの検討もお願い致します。

70 代女性



ゴムバンド体操が楽しみです

去年ぐらいから歩くのが辛くて、買い物や散歩の回数も減らしたんさ…

近所の人も少なくなってな、朝の掃除もな、近所で顔を合わすのも無い時もあるし寂しい。ほやけどな、公民館でやっとなるゴムバンド体操は楽しみでな、友だちや知り合いに会えるもんで。外へ出やれん日もテレビ見ながらしとるよ(^^)

minamiise

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^)/ みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じてることを 200 字程度でつぶやいて、ハガキが **FAX** で送ってくださいね。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 **FAX** 0599-66-2164

みんなでやつとるで～

「楽しかった」ばら組さんとの思い出

ばら組さんと、一緒に運動会やみかん狩り、発表会、豆まきなどたくさんの楽しい思い出ができました。行事では、ばら組さんがリーダーになりみんなで力を合わせて達成感を味わい一人ひとりが心も身体も大きく成長しました。

この自信が今後の活動への意欲に繋がってくれたら嬉しいです。

小さいお友だちは、ばら組さんに優しくしてもらったこと、教えてもらったことに「ばら組さんありがとう」と感謝し最後の思い出に楽しい『お別れ会』を開きました。

人形劇やプレゼント交換など楽しんでくれたばら組さん！

小学校へ行ってもみんなと力を合わせていろいろなことに挑戦してくださいね！



議長 上村 久仁

議会広報特別委員会
委員長 倉田 育
副委員長 河村 健志
委員 掛橋 靖
委員 森古 源久

平成31年2月6日に、全国町村議会議長会表彰において、手塚議員・岡田議員が議員27年、松葉議員が議員15年の自治功労者として表彰されました。



編集後記

平年より暖冬であった冬が過ぎ、春を迎えた三月定例会。若者定住と子育て支援に一層の力をいれた平成31年度施政方針が打ち出され、予算委員会でも熱い議論がされました。

〈議会だよりNo.48号

新元号の記載について

5月1日の改元に合わせ、新元号「令和」を使用することとなりますが、改元前に編集作業を行っている都合から「平成」で表記しているものがあります。これらの文書については「令和」に読み替えていただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

読み替え例

●平成31年 ↓ 令和元年
●平成32年 ↓ 令和2年

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

☎0599-66-1781
☎0599-66-2164